

こちら

議会広報部

2011.7
第26号

発行 / 周防大島町議会
〒742-2192
周防大島町大字小松126-2
TEL: 0820-74-1003(議会事務局)
編集 / 議会広報編集特別委員会
印刷 / (有)日良居タイムス

今回の主な内容

6月定例会	2~3P
一般質問	4~5P
意見書・町政転流.....	6P
視察報告.....	7P
その他.....	8P



6月定例会

3会計の補正予算をそれぞれ可決!!

平成23年度一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ2億5,235万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を137億791万2千円とする。

一般会計		増減		総額	
		2億5,235万2千円		137億791万2千円	

一般会計	歳出明細		補正額(千円)	歳出明細	補正額(千円)	
	総務費	総務管理費	258万2		消防費	消防費
民生費	社会福祉費	9,000万	教育費	教育総務費	15万9	
	児童福祉費	424万8		小学校費	129万9	
衛生費	清掃費	100万	社会教育費	8万5		
農林水産業費	農業費	25万3	保健体育費	58万5		
土木費	住宅費	427万9	諸支出金	繰出金	1億3,903万1	

平成23年度国民健康保険事業特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ1億6,300万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額を34億6,583万7千円とする。

国民健康保険事業特別会計		増減		総額	
		1億6,300万1千円		34億6,583万7千円	

事業	歳出明細		補正額(千円)
	国民健康保険事業特別会計	総務管理費	
	療養諸費		1億6,308万2
	高額療養費		300万
	後期高齢者支援金等		55万5
	前期高齢者納付金等		2万2
	介護納付金		26万3
	共同事業拠出金		364万3



平成23年度公営企業局企業会計補正予算

公営企業局		増減		総額	
資本的収入		2億9,300万円		10億2,080万円	
資本的支出		1,707万9千円		10億8,436万4千円	

日良居保育所の指定管理者決定

(指定の期間 H24.4.1~H27.3.31)

周防大島町立日良居保育所の管理運営を、白鳥会(代表 大田 穰)が行う。また、同期間中の指定管理料として、1億1,526万5千円を債務負担行為として決定。



日良居保育所

諮 問

人権擁護委員 沖廣紀恵氏(久賀) 鍵本一和氏(和田)

条例の一部改正

周防大島町税条例
 周防大島町国民健康保険税条例
 周防大島町公共下水道設置及び管理条例
 周防大島町農業集落排水処理施設設置
 及び管理条例

周防大島町漁業集落排水処理施設設置及
 び管理条例
 周防大島町特定公共賃貸住宅条例
 周防大島町営住宅及び一般住宅条例
 周防大島町病院等事業の設置等に関する条例
 周防大島町立病院及び出張診療所条例

平成22年度から平成23年度へ
 総額 7億4,127万7千円
 を繰り越します。



大島中学校体育館

平成22年度繰越明許費

繰越額(千円)

一 般 会 計	総務費	県議会議員選挙経費	209万
	農林水産業費	農産物等加工施設管理運営経費	480万
		ふれあいセンター管理運営経費	240万
		農地一般管理経費	2,200万
		排水施設管理事業	369万6
		白木センター管理運営経費	289万8
		漁港施設管理経費	8,496万
		海岸保全整備事業	4,585万6
	商工費	中小企業従業員住宅管理経費	1,602万7
		観光一般経費	1,450万
		公園等管理経費	885万
		星野哲郎記念館管理運営経費	600万
	土木費	道路橋りょう維持管理事業	6,400万
		道路新設改良事業	1億
		河川整備事業	1億1,750万
		公営住宅一般管理経費	980万3
	消防費	消防施設整備事業	404万8
	教育費	中学校管理事務局経費	922万1
		大島中学校屋内運動場改築事業	1億1,023万7
		久賀図書館管理運営経費	2,000万3
文化センター管理運営経費		420万	
歴史民俗資料館管理運営経費		256万8	
東和地区学校給食センター管理運営経費		2,780万	
特別会計	簡易水道費	維持管理経費	260万4
		設備経費	4,984万5
	公共下水道費	維持管理経費	447万8
	農業集落排水費	維持管理経費	89万3

一 般 質 問

日良居中学校の跡地利用は？

杉山 藤雄 議員

問 これまでの検討の経過とこれからの方針について町長の考えを問う。

答 日良居中学校の跡地については国道沿いで立地条件に恵まれているところから、グラウンド、体育館と校舎前のスペースを農産物の販売所として利用することで検討をすすめ、



日良居中学校

先進地視察、JAとの協議などをしてきた。

検討委員会の結論がグラウンドと体育館は地域住民の健康増進と社会体育振興に寄与することが良いとするものであり、町としてもその意向にそって当面は地域町民に利用していただく方針。

校舎については検討委員会で協議の結果（体験交流施設、児童福祉施設、学校の歴史資料施設）に加えて、教育委員会事務局を1階に移転して、2階を会議室等に利用することを考えている。

この校舎は建築基準法改正（昭和56年）前の建物であり、地震に対しての第1次診断は済んでいるが、今後第2次診断を実施し、その結果を基に具体的な計画を作る必要がある。

耐震補強して利用するか、それとも現状のまま利用するか考えているところであり、今しばらく時間をいただきたい。

地震対策は万全か？

平川 敏郎 議員

問 本町は、山口県で唯一東南海・南海地震防災対策推進地域の指定を受けている。学校施設は、ほぼ耐震化建物に整備されているが、保育所、公民館の耐震化はどうか。

答 保育所、公民館のうち耐震性が不明な各施設は、避難所の指定はしていない。乳幼児を預かる施設、不特定多数が集う施設であるため、今後調査し耐震改修を行う。

問 津波に対し保育所、公民館の避難体制の整備について問う。

答 両施設に関わらず、迅速かつ正確に情報を防災行政無線等で伝達する。避難にあつては、地域消防団、自主防災組織、施設の管理者の

指示、誘導に従って避難していただく。

問 下水道・最終処理施設・上水道配水池の耐震化チェック対策について問う。

答 各施設共新しく建築構造物は耐震を満たしている。

問 ポンプアップ場所は、震災を受けた場合、災害協定の元、業務委託をしているのか。

答 上水道と同様に業務委託している。上下水道が震災を受け、送水管・配水管が破裂した場合は、断水状態となるが、緊急遮断弁により、22ヶ所の配水池より10日間は緊急給水ができる。



橘地区の配水池

ここが聞きたい!!

4名が登壇

防災計画の徹底を！

安本貞敏 議員

問 今後、予想される東南海・南海地震への対応、住民への避難場所、誘導はどのようにするか。緊急時の食料の調達、備蓄の状況はどうなっているか。

答 周防大島地域防災計画に基づいて、震度、津波の有無により職員の参集基準や活動内容を定めている。

例えば、休日又は夜間に震度6弱以上の地震が発生し、津波注意報又は警報が発令され、交通途絶状況にある場合は、全職員最寄りの庁舎に出勤して、出勤途中の被害状況の報告を行い、その後それぞれの災害対策に従事する。住民への避難誘導の方法については、防災

無線により迅速かつ正確に情報伝達を行い、必要な場合には避難指示、避難勧告を行う。



昨年8月に各戸へ配布した地震防災マップを参考にされ、平素より確認をして欲しい。

備蓄食糧の状況及び調達方法については、一部東日本大震災の支援物資として提供した。食糧・飲料水の供給は被災者の生命維持を図る上で、最重要と考えている。

このほか、公衆トイレの設置について質問を行った。

上関原発は要りません、町民の立場の堅持を！

広田清晴 議員

問 東日本大震災は原発の安全性が確立していないことを事実をもって万人に示した。町長の上関原発に対する安全性への認識は。

答 東日本大震災では、「安全神話」はもろくも崩れた。国は厳格な安全基準を国民に示し、安全対策について国の説明が大事と考える。

問 町民の安全・安心を守る立場から、山口県と中国電力に対し、上関原発建設中止の申し入れをするよう求める。

答 上関原発の是非は、福島第一原発の状況を考えると、放射能の拡散被害は当該町(上関)のみならず広範囲に亘っているため、周

防大島町民の安全安心が大前提と考える。

問 東日本大震災に、引き続き長期の支援を求める。

答 義援金や支援物資も必要だが、今後は人的支援が必要。それぞれの課で調整がつけば引き続き、積極的に派遣をする。

問 町立病院の運営の基本は町民の信頼と病院に働く職員の信頼が不可欠。努力を求める。

答 無料バスの運行、院内処方、患者給食も地産地消を行っている。

医師の確保は消化器系内科、整形、泌尿器科等が不足、今後も努力。看護師確保は、看護学校の卒業生が院内研修中なので、今後期待している。



町政転流(21)



国のエネルギー政策に対する意見書



今年3月11日に発生した東日本大震災は、多くの死者、行方不明者、被災者を生み出しました。ここに、御冥福をお祈りするとともに哀悼の意を表明いたします。

また、この災害により発生した東京電力福島第一原子力発電所の事故は、チェルノブイリ原発事故に匹敵する最悪の事態と言われ、避難勧告・支持を受けた方々は、事故後3ヶ月あまり経った現在でも自分の住み慣れた家への帰宅もままならない状況です。また、「工程表」の見直しが言われるとともに、年内の帰宅は絶望的とも言われています。

周防大島町と町議会は今日まで「安心安全の町づくり」に全力を挙げていますが、福島の原発事故は国の言う「原発は安全」という「神話」を事実をもって否定しました。

私達の住む周防大島町は、四国電力の伊方原発から40kmあまり、中国電力が建設を予定している上関原発からは20~30kmの地点、まさに緊急避難、自主避難の地域に位置します。一旦福島原発並みの事故が起きれば、まさに「観光の町」どころか「死の町」になる状況です。よって、政府、国会、山口県に対し次のことを強く求めるものです。

- 1 安全性の確立されていない上関原発建設は認められない。
- 2 国際的な安全基準を早急に作成して国民に示すよう求める。
- 3 既存の原発の総点検を行うこと。
- 4 2030年を目途とする新エネルギー政策を大幅に見直し、新たな原発建設を凍結し循環再生エネルギー、自然エネルギーへ転換していくこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

提出者 広田 清 晴

賛同者 田中 隆太郎 平川 敏 郎 魚 谷 洋 一
尾 元 武 安 本 貞 敏 魚 原 満 晴 (全文掲示)



議会最終日、上記「国のエネルギー政策に対する意見書」は全議員の賛同を得て可決した。

6月20日の国会では「復興基本法」が成立し、本格的復興の第一歩を踏み出した。その基本理念は、単なる復旧にとどまらない抜本対策の推進で21世紀半ばの日本のあるべき姿を目指すとする。エネルギー政策は国の将来に向けての最重要課題と認識する。今一度、この度の大震災を教訓に、冷静かつ真剣に見つめ直す必要があると考える。

日本全国でも電力不足を懸念し、扇風機や土鍋、魔法瓶等、省エネ意識が見直されている。今こそ各々が生き方を転換し、環境革命を興す時である。この度の大きな犠牲を決して無駄にすることなく、地球的規模で未来の人類の在り方をリードするその^{さきがけ}魁役を果たす復興を願う。

(尾元)



- 町内公共施設視察研修 -

「し尿等の無公害処理」について見識を高める

5月14日、日見地区にある「衛生センター」の視察を議員14名が行った。

し尿及び浄化槽汚泥をキレイな水にする過程と設備について、担当者より説明を受けた。

機械の耐用年数については、手入れをしなければ10年くらいでだめになるが、定期的に補修をしているので10数年は維持できる。各種の機械があるが、今すぐに更新の必要はな



いとの事。

バクテリアや微生物の働きによって、きれいな水になること、発生した汚泥は、濃縮・脱水し、専門業者によってリサイクルされ、有機肥料に生まれ変わることなどが強く印象に残った。

(安本)

- 視察研修報告 - 議会広報編集特別委員会

(福岡県須恵町、福岡市、佐賀県鳥栖市)

須恵町では、町内を巡回するコミュニティバスが我々の目にとまり、その説明を受けた。2台のマイクロバスで、5路線を運行している。平成21年度は国の補助で無料であったが翌年度からは100円を徴収している。市民には好評との事。

福岡市議会では、議会の情報を市民にわかり易く迅速に提供する事により、開かれた議会の推進するとともに、市民の利便性の向上という観点から、平成19年9月定例会より本会議のインターネット放映が開始され、翌20年12月から本会議のモニター放映が実施されている。

鳥栖市議会では、平成22年12月から、ケーブルテレビでの議会生中継の試行を行っており、新年度予算は、インターネットでの議会

生中継・モニター放映の予算を上程しているとの事。

両市議会ともネット中継と広報誌の両方に対応していくとの事であった。周防大島町としても本年中にはケーブルテレビも整備され、ネット中継も検討していくべきであろう。



コミュニティバス(須恵町)

動産の買い入れ契約

購入物品	契約方法	契約会社	購入金額
平成22年度図書館情報総合システム	随意契約	ソラン西日本(株) 周南事業所	1,890万円

工事請負変更契約

購入物品	契約会社	原契約	変更後の金額
周防大島町立大島中学校屋内運動場 建築工事	(株)神田建設	1億9,110万円	1億9,204万9,200円

議員研修・議員派遣及び活動内容

行事内容	日程	派遣先	参加目的及び参加議員
行政視察 (議会運営委員会)	6月28日、 29日	熊本県 ・ 福岡県	議員定数等に関する調査研究 魚原、安本、尾元、魚谷、松井、 荒川 各議員
広島・周防大島町町人会	7月3日	広島市	会員との情報交換 平野、安本、尾元、中村、魚谷、 久保、荒川 各議員
柳井地区広域市町議会議員研修会	7月26日	柳井市	議員相互の連携 全議員
山口県町議会議員実務研修会	7月28日	山口市	議会実務に関する研修 全議員

編集後記

今夏は、“じめじめとした暑い夏”との予報が発表された。特に熱中症には要注意である。十分な休養と、水分補給、そして暑いところは避ける心がけが必要であろう。

そんな中、久しぶりに朗報が飛び込んできた。「小笠原諸島」の世界自然遺産への登録に続いて「平泉」の世界文化遺産への登録が決定した。連続クリーンヒットの明るいニュースである。特に、震災でご苦労されている地域にとっては、大きな励みとなる。

一方、相変わらずヒットどころか有効な手立てもなくひたすら延命策を実行している輩もいる。先日の全国紙2紙には、紙面の中に数回「ペテン」という言葉が使われていた。まさに酷評の最たるものであるが、評価しようもない域に落ちてしまっている。

多少口当たりは悪くても、健康で夢のある“カキ氷”を食べたい季節となった。(魚谷)



議会広報・議事録

インターネット公開へ

議会広報・議事録を「周防大島町ホームページ」で公開しています。

周防大島町ホームページ <http://www.town.suo-oshima.lg.jp>

なお、各図書館へは議事録を備えています。